

宿泊産業のDXが加速 地方の魅力再発信に期待

PMSホテルシステム (株) タップ

PMSを中心に、多様なサブシステムを提供するシステムベンダー。JAVAに基づくシステム設計のため、バージョンアップを繰り返しながら、長期にわたってデジタル資産を継続利用できるのが同社の製品特徴だ。



代表取締役社長
林 武司氏

東京都江東区東陽 2-2-4
☎03-5683-5312
https://www.tap-ic.co.jp

2021年は、ホテル・旅館の皆さまも当社も困難な年となりましたが、2022年に向けて明るい兆しも見えてきました。秋の紅葉シーズン

の客足の戻りからも、観光ロコ対策が行き渡れば、新規需要の大きな回復が予想されます。当社のPMS・サブシステムのユーザーは導入予定を含めると約1200ととなり、ホテルシステムの改善に

関して、ホテル・旅館の経営者の皆さまの意欲は止まっています。当社としても、海外も含めスタッフ数を約250名と強化し、開発・サポートに当たっております。社内業務でもテレワークで新型コロナウイルス

の客足の戻りからも、観光ロコ対策が行き渡れば、新規需要の大きな回復が予想されます。当社のPMS・サブシステムのユーザーは導入予定を含めると約1200ととなり、ホテルシステムの改善に

関して、ホテル・旅館の経営者の皆さまの意欲は止まっています。当社としても、海外も含めスタッフ数を約250名と強化し、開発・サポートに当たっております。社内業務でもテレワークで

地域の集客力を高める 「エリアブランドアプリ」

政府がデジタル庁発足に際し、「誰一人取り残さないデジタル社会の実現のため、各分野において取組を進めていること」との声明を出している。観光産業とホテル・旅館をご利用いただけるお客さまにも、もちろんあてはまります。宿泊施設におけるDX

は今後の重要な課題となり、当社として新たなソリューションを提供していきたい

と思っています。新型コロナウイルス終息後の観光回復には、やはり各地方の魅力を発揮できるようなDXが必要になってくるのではないのでしょうか。これはホテル・旅館単体では限界がありますので、地域全体で協力する必要があります。当社で進めているのは「エリアブランドアプリ」という構想です。これは、自治体・DMO・観光施設・宿泊施設などが、いわば持ち寄りで、デジタルツールを活用しながら地域振興を図ろうという考え方で、ITをどのように取り入れるかは、地域によって様々な形になると思いますので、当社のサポートも多様な展開になるでしょう。

「PMSをはじめとするデジタルシフトは、宿泊業界の業務を大きく変えました。この業界での人手不足の解消の目的は立派で、ITによる業務効率化が加速して行くでしょう。新型コロナウイルスという未開の事態に直面せざるを得なかったとはいえ、対面の接客サービスは宿泊業に欠かせないものです。非対面業務でのIT活用が、ホテル・旅館のサービス向上につながるよう、当

社として宿泊業界全体のレベルアップに貢献していきたいと思っています。

2017年の30周年記念イベントで、「マイホテル・マイオペレーション」という構想を発表しました。宿泊客が自分のデジタル端末を使い、PMSなどの施設システムや外部システムに接続して、予約からチェックアウトまで快適な旅行時間を過ごすというご提案です。この構想がいろいろ本格化したため、ホテルの規模やチェーン数が拡大するにつれ、現場接客スタッフとIT部門スタッフとのしつかりした連携が必要になりました。当社でも2023年に沖縄IT津梁パークに開業予定の実験ホテルで、新たなIT活用の検証を行っていきたく考えております。宿泊施設のDXにおいて、様々な情報をご提供できると思っております。

当社には「まずチャレンジをしてみなければ、何も始まらない」という社風があり、様々な地域に滞在する豊かな体験を高めるため、これからも、宿泊施設の皆さまから教えていただきながら、製品の品質向上に努めて行きたいと思いま

社として宿泊業界全体のレベルアップに貢献していきたいと思っています。

2017年の30周年記念イベントで、「マイホテル・マイオペレーション」という構想を発表しました。宿泊客が自分のデジタル端末を使い、PMSなどの施設システムや外部システムに接続して、予約からチェックアウトまで快適な旅行時間を過ごすというご提案です。この構想がいろいろ本格化したため、ホテルの規模やチェーン数が拡大するにつれ、現場接客スタッフとIT部門スタッフとのしつかりした連携が必要になりました。当社でも2023年に沖縄IT津梁パークに開業予定の実験ホテルで、新たなIT活用の検証を行っていきたく考えております。宿泊施設のDXにおいて、様々な情報をご提供できると思っております。

当社には「まずチャレンジをしてみなければ、何も始まらない」という社風があり、様々な地域に滞在する豊かな体験を高めるため、これからも、宿泊施設の皆さまから教えていただきながら、製品の品質向上に努めて行きたいと思いま

社として宿泊業界全体のレベルアップに貢献していきたいと思っています。

2017年の30周年記念イベントで、「マイホテル・マイオペレーション」という構想を発表しました。宿泊客が自分のデジタル端末を使い、PMSなどの施設システムや外部システムに接続して、予約からチェックアウトまで快適な旅行時間を過ごすというご提案です。この構想がいろいろ本格化したため、ホテルの規模やチェーン数が拡大するにつれ、現場接客スタッフとIT部門スタッフとのしつかりした連携が必要になりました。当社でも2023年に沖縄IT津梁パークに開業予定の実験ホテルで、新たなIT活用の検証を行っていきたく考えております。宿泊施設のDXにおいて、様々な情報をご提供できると思っております。